

平成 20 年度
事業計画書

自 平成 20 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 3 月 31 日

社団法人日本ボート協会

■平成20年度事業方針

＜平成20年度の課題と取り組み＞

協会の中期計画としての課題は「人口増大」「オリンピックでのメダル獲得」「財政強化」「魅力向上」の四つに集約され、それぞれプロジェクトを組み推進中である。

「人口増大プロジェクト」については、この数年収集した情報を集約し具体的で明確な方針を設定し活動中である。従来、地方協会主催であった「マスターズ大会」と「中学選手権」の両大会を日本ボート協会主催とし、全国規模に引き上げ競技人口の発掘と増大を目指したい。

次に、「メダル獲得プロジェクト」については、まさしく本年は北京オリンピック開催年であり、本年の最重要課題はオリンピック大会でのメダル獲得に尽きると言っても過言ではない。前回大会以降、コーチングスタッフの力量アップと強化指定選手に対しては綿密なる強化計画を策定し邁進してきた。大会まで残った時間は少なくなったが、最後までメダル獲得に向け協会の総力をあげて取り組みたい。

「財政強化プロジェクト」については、従来の枠にとらわれず協会一丸となって、財務体質の強化を図っていききたい。

「魅力向上プロジェクト」では、協会主催大会での観客動員増を目指し、実況中継を取入れる等「見て面白いレガッタ」を、また老若男女が幅広く楽しめるよう「ローイングボートのジャンル開拓」を図り、より一層のボート競技に対する魅力を感じて貰う工夫を考えていきたい。

当該プロジェクトの他に新たな中長期の目標ということで、「ジュニア選手(特に中高生)の強化体制の充実」に取り組みたい。中でもジュニア層に対する指導者について、プロコーチ導入・一般指導者の育成等検討を開始したい。

また、協会の基本事業である、全日本選手権大会及び各種競漕会の開催、安全で円滑な大会運営のための各種規則の制定、公認コース設定のための助言指導と認定、普及振興のための指導者育成、マシンローイング大会の開催、アンチドーピングに対する取り組み、事故の発生を未然に防止するための安全ガイドラインに則った安全の確保並びに安全意識向上の徹底した指導と教育、機関誌「月刊 Rowing」及び協会ホームページの更なる充実等々の事業を関係各位のご協力を得て例年通り推進する。

加えて、2016年オリンピックの東京都への誘致に関して、JOCに全面的に協力し活動していきたい。

■平成 20 年度実施事業

当協会は、ボート競技を振興して日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することによりわが国文化の向上に寄与する目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 全日本選手権大会及び各種競漕会の開催に関する事業

(1) 全日本選手権大会及び各種競漕会の開催

各種の全日本選手権大会、国民体育大会ボート競技及びオックスフォード盾レガッタほかの競漕会を下表のとおり開催する。

(2) 全日本マスターズレガッタの開催

生涯スポーツとしてのボート競技振興のため、第 1 回全日本マスターズレガッタを 5 月 24 日、25 日、愛知県愛知池漕艇場で開催する

(3) 全日本中学選手権競漕大会の主催

若年層からボート競技に親しむ機会の増大を図るため、当協会は第 28 回大会より本

大会を主催する。

[表 1] 平成 20 年度競漕大会日程

| 開催日程 | 大会名称 | 開催場所 |
|------------------|-----------------------------|-----------------|
| 5/16(金)～18(日) | JAPAN CUP 第 30 回全日本軽量級選手権大会 | 埼玉県・戸田ボートコース |
| 5/24(土)～25(日) | 第 1 回全日本マスターズレガッタ | 愛知県・愛知池漕艇場 |
| 6/13(金)～15(日) | 第 6 回全日本ジュニア選手権大会 | 熊本県・斑蛇口湖ボート場 |
| 7/12(土)～13(日) | 第 58 回全日本社会人選手権大会 | 宮城県・宮城県長沼ボート場 |
| 7/26(土)～27(日) | 第 28 回全日本中学選手権競漕大会 | 岐阜県・長良川国際ボートコース |
| 8/7(木)～10(日) | 第 56 回全日本高等学校選手権競漕大会 | 埼玉県・戸田ボートコース |
| 8/21(木)～24(日) | 第 35 回全日本大学選手権大会 | 埼玉県・戸田ボートコース |
| 8/23(土)～24(日) | 第 48 回オックスフォード盾レガッタ | 埼玉県・戸田ボートコース |
| 9/18(木)～21(日) | 第 86 回全日本選手権大会 | 埼玉県・戸田ボートコース |
| 10/3(金)～6(月) | 第 63 回国民体育大会ボート競技 | 熊本県・菊池市斑蛇口湖ボート場 |
| 10/17(金)～19(日) | 第 49 回全日本新人選手権大会 | 埼玉県・戸田ボートコース |
| H21/3/20 金-22(日) | 第 20 回全国高等学校選抜大会 | 静岡県・浜松市天竜ボート場 |

2. オリンピック大会およびこれに準ずる国際競漕大会に日本を代表するクルーおよび
役員を選定し、参加させることに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

日本代表クルーを選定し、日本代表選手団を下表の大会へ派遣する。

[表 2-1] 日本代表選手団派遣大会

| 開催期日 | 大会名称 | 開催場所 |
|------------------|---------------------|-----------------|
| 4/25 (金) ~27 (日) | 北京オリンピックアジア最終予選 | 中国・上海 |
| 5/9 (金) ~11 (日) | ワールドカップ第1戦 | ドイツ・ミュンヘン |
| 6/20 (金) ~22 (日) | ワールドカップ第3戦 | ポーランド・ポズナン |
| 7/17 (木) ~20 (日) | U23 世界選手権大会 | ドイツ・ブランデンブルグ |
| 7/22 (火) ~27 (日) | 世界選手権大会・世界ジュニア選手権大会 | オーストリア・オッテンスハイム |
| 8/9 (土) ~17 (日) | 第29回オリンピック大会 | 中国・北京 |
| 11/4 (火) ~9 (日) | アジアジュニア選手権大会 | 中国・香港 |

(2) 国際審判員派遣事業

1) FISA 及び ARF 主催大会、オリンピックで審判業務に従事し、国際審判員の養成
と審判技量の向上を図るため、下表の大会へ国際審判員を派遣する。

2) アジアジュニア選手権大会（中国・香港）では、ARF 加盟国の審判養成、審判技
量の向上に協力・支援を行う。

[表 2-2] 国際審判員派遣大会

| 大会日程 | 大会名称 | 開催場所 | 人数 |
|--------------------|----------------|--------------|----|
| 4/25 (金) ~4/27 (日) | オリンピックアジア最終予選 | 中国・上海 | 2名 |
| 5/30 (金) ~6/1 (日) | ワールドカップ第2戦 | スイス・ルツェルン | 1名 |
| 7/17 (木) ~7/20 (日) | U23 世界選手権大会 | ドイツ・ブランデンブルグ | 1名 |
| 8/9 (土) ~8/17 (日) | 第29回オリンピック競技大会 | 中国・北京 | 1名 |
| 9/4 (木) ~9/7 (日) | 世界大学選手権大会 | セルビア・ベルグラード | 1名 |
| 11/4 (火) ~11/9 (日) | アジアジュニア選手権大会 | 中国・香港 | 2名 |

(3) 国際関係事業

国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報の把握のため、FISA、ARF 総会へ関係役員を派遣する。

[表 3-3] 国際会議への派遣計画

| 会議名称 | 会議日程 | 開催場所 | 人数 |
|-------------|------------|-----------------|----|
| FISA 年次通常総会 | 7/25 (金) | オーストリア・オッテンスハイム | 1名 |
| FISA 臨時総会 | 21/2/12～15 | 南アフリカ・ケープタウン | 1名 |
| ARF 通常総会 | 11/8 (土) | 中国・香港 | 1名 |

3. ボート競技に関する諸規則の制定に関する事業

(1) 競漕規則の制定に関する事業

- 1) 競技者規定の見直し、検討を行う。
- 2) コース規格規定の改定を6月1日目途に実施する。
- 3) 国民体育大会ブロック予選・地区予選の公認コース開催を制度化する。

(2) 公認審判員規定に関する事業

資格更新基準を含め、公認審判員規定の見直しを実施する。

4. ボート競技に関する調査・研究・指導・強化ならびに普及啓発に関する事業

(1) 審判関係事業

1) 審判員研修・養成事業

審判員の養成と審判技量の向上を図るため、審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会と講習会を下表のとおり実施する。

2) 大会審判業務

当協会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行う。

[表 4-1] 審判員研修・養成計画

| 研修会名称 | 開催日程・開催場所 | 参加人数 |
|-----------------------------|----------------------------------|------|
| 第69回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催) | 5/15 (木)～18 (日) 埼玉県・戸田ボートコース | 30名 |
| 第70回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催) | 10/16 (木)～19 (日) 埼玉県・戸田ボートコース | 40名 |
| 審判員講習会 (C級審判員認定試験) | 都道府県協会の要請により 随時実施する | |

(2) 指導者養成事業

1) (財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業

日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、各指導者資格取得のための養成講習会を下表のとおり開催する。

[表 4-2]

| 養成指導者名 | 養成数 | 開催日程 | 開催場所 | 養成担当 |
|--------------|-----|------------------|----------|---------|
| コーチ（専門科目） | 30名 | 10/30（木）～11/3（月） | 埼玉県戸田市 | 日本ボート協会 |
| 指導員（専門科目） | 40名 | 12/中旬、21/2 中旬 | 熊本県菊池市 | 日本ボート協会 |
| スポーツドクター | 2名 | 10/11（木）～12日（日） | 東京都内 | 日本体育協会 |
| アスレティックトレーナー | 1名 | 7/下旬～11/下旬まで | 東京・大阪・福岡 | 日本体育協会 |

2) (財) 日本体育協会公認スポーツ指導者 更新のための義務研修会開催事業

公認スポーツ指導者の資格更新を図るため、更新義務研修会を下表のとおり開催する。

[表 4-3]

| 事業名 | 養成数 | 開催日程 | 開催場所 |
|----------|-----|-------------|---------------|
| 第1回義務研修会 | 30名 | 5/4（日） | 瀬田漕艇倶楽部（滋賀県） |
| 第2回義務研修会 | 30名 | 平成 21/2（予定） | 戸田ボートコース（埼玉県） |

3) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

ボート普及を担う指導者人材を養成するため、ボートインストラクター養成講習会を下表のとおり開催する。

[表 4-4]

| 事業名 | 養成数 | 開催日程 | 開催場所 |
|----------|-----|-------------|----------------|
| 第1回養成講習会 | 45名 | 4/13（日） | 加古川漕艇センター（兵庫県） |
| 第2回養成講習会 | 30名 | 7/6（日） | 鶴見川漕艇場（神奈川県） |
| 第3回養成講習会 | 30名 | 平成 21/3（予定） | 戸田ボートコース（埼玉県） |

(3) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー養成事業

全国的な安全意識の更なる向上を目指して、第3回セーフティアドバイザー研修会を下表のとおり開催する。

[表 4-5]

| 事業名 | 養成数 | 開催日程 | 開催場所 |
|--------|-----|---------|---------|
| 第3回研修会 | 20名 | 11/2(日) | 九州(検討中) |

(4) コーチセミナー開催事業

競技力強化、指導者・競技者育成計画の促進を図るため、協会コーチ他によるコーチセミナーを下表のとおり開催する。

[表 4-6]

| 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 講師 |
|---------|---------|---------------|--------|
| 第1回セミナー | 11月(予定) | 戸田ボートコース(埼玉県) | 協会コーチ他 |
| 第2回セミナー | 2月(予定) | 戸田ボートコース(埼玉県) | 協会コーチ他 |

(5) 選手強化事業

日本代表選手の競技力向上及び国際大会に向けて国際競技力の強化を図るため、国内・国外で下表のとおり強化合宿を実施する。

[表 5-1] 2008年世界選手権大会・ワールドカップ・U23世界選手権代表選手

| 合宿種別 | 合宿日程・場所 | 参加人数 |
|--------|--------------------------------|-------------------------|
| 国内強化合宿 | 4/7(月)～4/20(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：8名、 スタッフ：2名 |
| | 5/7(水)～5/11(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：8名 スタッフ：2名 |
| | 5/19(月)～6/1(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：15名、女子：3名 スタッフ：2名 |
| | 6/30(月)～7/28(月) 岩手県・田瀬湖 | 男子：10名、女子：4名 スタッフ：5名 |
| 海外強化合宿 | 4/15(火)～6/24(火) ギリシャ・アテネ | 男子：3名、女子：2名 スタッフ：5名 |
| | 6/24(火)～7/29(火) ギリシャ・アテネ | 男子3名 スタッフ：2名 |

[表 5-2] 2008年世界ジュニア選手権大会・アジアジュニア選手権大会代表選手

| 合宿種別 | 合宿日程・場所 | 参加人数 |
|------|---------------------------------|------------------------|
| 強化合宿 | 6/15(日)～6/19(木) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：7名、女子：3名 スタッフ：3名 |

| | | |
|--|--------------------------|------------------------|
| | 7/1(火)～10日(木) 岩手県・田瀬湖 | 男子：7名，女子：3名 スタッフ：3名 |
|--|--------------------------|------------------------|

[表 5-3] 平成 20 年度強化指定候補選手の強化合宿

| 合宿種別 | 合宿日程・場所 | 参加人数 |
|--------|---|---------------------------|
| 国内強化合宿 | 11/24(月)～11/30(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：25名，女子：15名 スタッフ：10名 |
| | 平成 20 年 1/19(月)～25(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：20名，女子：10名 スタッフ：10名 |
| | 平成 20 年 2/16(月)～2/22(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：20名，女子：10名 スタッフ：10名 |
| | 平成 20 年 3/16(月)～3/23(日) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：15名，女子：5名 スタッフ 10 名 |

[表 5-4] 全国高等学校選抜強化合宿

| 合宿名称 | 合宿日程・場所 | 参加人員 |
|-----------|---|---------------------------|
| 第 1 次強化合宿 | 12/22(月)～26(金) 静岡県・天竜ボートコース | 男子：20名，女子：20名 スタッフ：20名 |
| 第 2 次強化合宿 | 平成 20 年 1/19(月)～1/23(金) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：7名，女子：4名 スタッフ：3名 |
| 第 3 次強化合宿 | 平成 20 年 2/16(月)～2/20(金) 埼玉県・戸田ボートコース | 男子：6名，女子：4名 スタッフ：3名 |

(6) 競技者育成事業

「競技者育成プログラム」の実施に向けて、実施計画の策定、人材確保等の作業を進める。

(7) 普及啓発事業

1) 全国マシンローイング大会の開催

第 21 回大会を 9 月～平成 21 年 2 月の間、全国 9 ブロック及び全国 10 拠点で開催する。昨年度比 10%増、3,500 人の参加を目標とする。また、全日本選手権大会の出場予定者には本大会への参加を奨励する。

2) 外濠レガッタの開催

ボート人口増大活動の一環として 10 月 26 日（日）、日本代表選手、一般参加者、来客が一体となってボートの魅力を楽しむイベント「第 3 回外濠レガッタ」を都内

外濠で開催する。

3) 環境方針の制定

協会活動の全ての分野で、地球温暖化防止を始めとした「地球環境との調和、環境の保護・改善」に配慮して行動し、都道府県協会を通じて日本ボート界の全ての団体、個人の環境意識の向上に努めることを謳った日本ボート協会環境方針を制定する。

4) 関連団体の活動支援

高校生、中学生のボート競技振興及び障害者ボート競技の振興を図るため、それら関連団体が実施する競漕大会と普及活動に対して助成金の交付と業務支援を行う。

(8) メディカルサポート・ドーピング検査

1) 主催大会の会期中、医師を会場に常駐させ、選手のコンディショニングサポート、救急事態への対応に備える。

2) オリンピック競技大会等、主要な国際大会、海外合宿に医師、トレーナーを同行させ、選手へのメディカルサポート、コンディショニングサポートを行う。

3) ドーピング検査

日本アンチドーピング機構とドーピング検査について協力関係を保持する。

4) 競技団体、選手等を対象としたレクチャー開催などを通じて、アンチドーピング教育・啓発活動を推進する。

5) 日本アンチドーピング機構のドーピングオフィサー養成事業に協力し、ドーピングオフィサー養成を行う。

5. 競漕艇及び付属具の規格の決定と審査に関する事業

(1) 規格艇の審査と登録

新規申請者を含む規格艇製造・販売業者からの規格艇登録申請について審査登録業務を行う

(2) 規格艇の検査

第63回国民体育大会、第56回全国高等学校選手権及び第20回全国高等学校選抜大会に於いて、使用競漕艇の検査業務を行う。

(3) 艇及びオールの調査・研究と科学的情報の収集と提供を行う。

6. 各種ボート競技に関する図書の刊行に関する事業

(1) 協会広報誌の発行

「月刊ローイング」を年10回、発行する。読者管理システムの活用と改良に努め、新規購読者の開拓を行う。

- (2) ボート競技の指導・普及テキストの刊行
ボートインストラクター養成用テキスト「初級編」を刊行する。
- (3) 初心者指導用教材の作成
主にボートインストラクター養成を効率的に行うため、DVDによる指導教材を作成し、講習会で活用する。
- (4) ホームページの充実
積極的にグレードアップ、リニューアルを進め、HPを通じた広報と事業活動及び読者サービルの推進する。
- (5) 都道府県協会のホームページ開設を支援するため、必要な助言と援助を行う。

7. その他の目的を達成するため必要な事業

- (1) 協会財政基盤の強化
日本オリンピック委員会、日本スポーツ振興センター、その他の団体と個人に対し、本会の実施事業の重要性について理解を得るための活動を行い、可能な限りの助成と援助を要請する。さらに、本会の諸事業、募金活動等により自主財源の確保に努めるなど、積極的に財政基盤の強化に取り組む。
- (2) ボート人口増大運動の継続
全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国各地のボート関係団体・個人との交流を推進し、ボート人口増大、魅力あるボートライフの創出等、長期的な人口増大活動を展開する。

以上